

校訓 生をよこべ 矩にしたがえ 全力をつくせ	学校教育目標 (1) 広く語らい信頼を深め、自ら啓発し、共に鍛えよう。 (2) 本校の歴史・伝統を踏まえ、理想的な学園の建設に努めよう。 (3) 有為な社会人、国際人となるための教養を高めよう。	育成すべき生徒像 (1) 自らの感性や創造性を磨き、自分の人生や社会とのつながりを実感できる生徒 (2) 自らの能力を引き出し、その能力を将来会う課題の主体的な解決に活かすことのできる生徒 (3) 心豊かで、リーダーシップを発揮できる生徒 身に付けさせるべき8つの力(旭東DPディプロマポリシー) ①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力	学校標語 『シマレ ガンバレ』 (昭和8年制定) 『拳校大和』 (昭和32年制定)
---------------------------------	--	---	---

- 経営方針**
- 1 高大接続改革の方向性を見据え、学習の質を高める授業改善に努める。
 - 2 教職員一人一人の力が組織として生きて働く、協働意欲に満ちた活力ある学校づくりに努める。
 - 3 保護者・地域からの信頼と支援に応える積極的な情報発信と連携強化に努める。
 - 4 業務改善手引書に基づく取組を確実に実施するなど、持続可能な学校体制の整備を図る。

教育活動

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	主体的に学びに向かう姿勢、基礎的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を育成するための教育環境の整備	生徒の授業満足度の向上と評価の改善	学習指導方法の改善に向けて、特に思考力・判断力・表現力を育成するための指導方法の改善について、組織的、具体的な取り組みを進められたか。	教務部、各教科
		生徒の学習の量的確保と質的向上	学習状況調査の結果をもとに、生徒が日常的に学びに向かうよう週1000分の学習時間を確保できる環境を整えられたか。	教務部、各教科、学年
		生徒の生涯にわたる知的態度の涵養	読書習慣の育成と総合的な探究の時間の効果的な実施等、生徒が生涯にわたり学びの姿勢を持ち続けるよう知的な好奇心を刺激する取り組みを行えたか。	教務部、各教科
		新教育課程の編成	大学入試改革と新学習指導要領の実施を見据え、育てるべき生徒像と旭東DPを踏まえた上で新教育課程の編成を行えたか。	教務部、進路指導部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任、自立ある生徒の育成	ルールの順守、マナーやモラルの維持・向上	東高生に相応しい挨拶や服装等の指導、自転車運転や公共交通機関利用のマナー、スマホ利用等の指導が、職員の共通理解のもとで適切に行われたか。	生徒指導部、学年
		生徒会活動と旭東DPとの関連付け	本校の生徒会活動と旭東DPとの関連付けを行うとともに、ループリックの作成等により達成度の検証に向けた取組がなされたか。	生徒指導部、学年
		いじめ防止対策等の充実	「学校の基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実と努めるとともに、トラブル発生時の初期対応等に関する適切な研修が行われたか。	生徒指導部、保健相談部、学年
		部活動の在り方に関する理解と改善	「道立学校に係る部活動の方針」を踏まえた本校の活動方針の周知、理解を深めるとともに、本校の持続可能な部活動の在り方について検討が進められたか。	生徒指導部、部顧問
進路指導	進路意識の高揚と実力養成による生徒の進路実現	2021年度入試への対応	2021年度入試に関する情報収集と共有化を進め、指導体制・業務内容の機能化を図ることが出来たか。	進路指導部、学年
		組織的な業務の実施	学年と連携し、進路行事の充実と進路業務の共有化を図り、指導の充実につなげることができたか。	進路指導部、各教科
		次期学習指導要領の実施に向けて	令和4年度からの実施に向けて教務部と連携し、校内体制の構築や「総合的な探究の時間」等のさらなる充実を図ることができたか。	進路指導部、学年、教科
健康・安全指導	自他の生命を尊重できる生徒の育成	個別支援体制の充実	教育相談、特別指導等における組織的な支援、指導の内容の検討など、持続可能な個別支援体制の在り方について検討が進められたか。	保健相談部、学年
		自己管理能力の向上	生徒が抱える学習や部活動、学校行事等に関わる悩み等に対して、学年等との連携のもと適切に対応する組織的な体制の確立に向けた検討がなされたか。	保健相談部、生徒指導部、学年
		危機管理体制の向上	生徒が安心・安全な学校生活を送るための危機管理体制の点検、見直しを実施し、特に地震等非常災害時における対応の体制が整えられたか。	総務部、生徒指導部、保健相談部、事務部

学校経営

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域に信頼される学校作り	保護者や地域からの信頼度の向上	学校評価の充実	課題の重点化、根拠に基づく達成度の検証に重点を置くとともに、中間評価、年度末評価が業務改善に結びつくサイクルが確立されたか。	総務部、各分掌、学年
		地域や保護者に対する情報発信の強化	総合的な探究の時間や学びのフローなど特色ある活動をアップし更新頻度を高め、アクセス数を把握するなどしてその効果の検証が図られたか。	教務部、進路指導部、総務部
		保護者からの信頼度の向上	全保護者による学校評価アンケートを実施して学校に対する信頼度を把握するとともに、分析・改善による低評価の減少が図られたか。	総務部、各分掌、学年
組織運営	課題共有と解決のための協働体制の確立	会議等の効率化	議題の事前打合せ、説明の簡略化を徹底し、目的が明確な効率の良い会議の実施に努めるなど、時間外勤務の縮減が図られたか。	総務部
		校内組織の見直し	学級減を見据えた分掌のさらなる再編を含む組織、構成の見直し、校内体制の改善に向けた検討が行われたか。	総務部
		働き方改革の取組	業務改善手引書に基づく取組を確実に実施するなど、持続可能な学校体制の整備が図られたか。	総務部、各分掌、学年
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究・校内研修の充実	新学習指導要領を踏まえて、教育課程を編成・実施・評価し、改善するPDCAサイクルを確立することができたか。	教務部、各教科
		不祥事を防止する職場環境の保持	モラル違反に対する緊張感や危機感の保持など、相互牽制などによる不祥事が起こりにくい職場環境を維持するための取組が図られたか。	総務部